

ウトナイ湖通信



No.241

2024年6月号



さえずりがにぎやかな6月のウトナイ湖。キビタキは繁殖のためにウトナイ湖にやってくる夏鳥です。ほかにもクロツグミやツツドリ、センダイムシクイなど、たくさんの野鳥のさえずりが楽しめます。

ウトナイ湖は、周囲約9km、面積約275ha、平均水深約0.6mの淡水湖です。鳥類はこれまでに約270種が確認され、ガン・カモ・ハクチョウなどの渡り鳥にとって重要な中継地、越冬地となっています。

6月のイベント情報

お気軽ガイドウォーク in ウトナイ湖

6月9日(日)
10:30~11:30
レンジャーや当センターのボランティアが40分程、屋外でウトナイ湖の自然を案内します。※荒天時は館内ガイドウォークに変更します。

- 定員:10名程度
- 対象:どなたでも(小学生以下保護者同伴)
- 申込:不要。直接当センターへ



救護室バックヤードツアー

6月22日(土)11:00~11:40
普段一般公開をしていない傷病救護のバックヤードを当センターの獣医師がご案内します。

- 定員:10名
 - 対象:どなたでも(小学生以下保護者同伴)
 - 申込:事前申込制
- 6/1(土)~6/21(金)まで電話で当センターへ

救護セミナー 『ひろげよう シマフクロウの環 一步先へ』

6月29日(土)10:00~12:00
●講師:シマフクロウ環境研究会 竹中 健氏
●定員:30名(小学生以下保護者同伴)
●申込:事前申込制

6/1(土)~6/28(金)まで電話で当センターへ

ボランティア体験講座

~初夏の自然情報収集調査体験~

6月30日(日)9:30~12:00
前半は当センターのボランティア活動とウトナイ湖の説明、後半は屋外にて自然情報収集調査を体験いただきます。ご希望の方は受講後に当センターボランティアとしてご登録いただけます。

- 定員:5名程度
 - 対象:高校生以上
 - 申込:事前申込制
- 6/1(土)~6/29(土)まで電話で当センターへ

※当センターのボランティアは本講座を受講した方のみ登録いただけます。



◆ウトナイ湖野生鳥獣保護センター◆ TEL.0144-58-2231

〒059-1365 苫小牧市植苗 156-26 / 道の駅となり

開館時間:午前9時~午後5時 / 入館無料

ウトナイ湖野生鳥獣保護センター 検索

休館日:毎週月曜日(祝日の場合は翌日)及び年末年始

ラムートくん



~ ウトナイ湖 ~
・国指定鳥獣保護区特別保護地区
・ラムサール条約湿地
・東アジア・オーストラリア地域
・フライウェイ・パートナーシップ

当センターでは、国指定ウトナイ湖鳥獣保護区とその周辺(苫小牧市行政区域内)において人為的な原因で保護された傷病鳥獣の救護・リハビリを行っています。その活動の一端をご紹介します。



ヤブサメ

原因：人工物衝突

体重 8 g

5月1日



搬入時の様子（右側より）



搬入時の様子（左側より）

14：00頃、市内民家の敷地内で飛ばずにいるところを保護される。

周囲の状況から、建物などの人工物に衝突されたと思われる。体の左側を強打したのか、左目は閉じていたが、眼球自体に損傷は認められなかった。保温・安静状態にして経過観察。次第に閉じていた目も開くようになり、動きも活発に。

十分な飛翔力も確認し、同日中にリリースにいたる。

リリース

※公式 SNS でも紹介しています。

ヤブサメ（スズメ目 ウグイス科）

全長11cm。雌雄同色。夏鳥。小さな鳥で、尾が非常に短く、上面は茶褐色をしています。ヤブの中や地上を活発に動き回り、林道脇などに出てくることがあります。“シシシシシ・・・”と、尻上がり強く高くなる独特な声でさえずりをしますが、虫の音と間違えやすく、聞き逃してしまうこともあります。

トピックス



ウトナイ湖・春の渡り鳥 DAY を開催

世界渡り鳥の日にあわせ、さえずりをテーマとした観察会や、お題を撮ってくるフォトラリー、ボランティアのミニガイドを行ないました。初めての試みのフォトラリーでは、お題をコンプリートする参加者も見られ春の自然を感じていただけようです。



第1回「傷ついた鳥たちのお話」

5月5日に当センターで収容している終生飼養の傷病鳥獣を紹介しながら、どのような経緯で保護され現在に至るのか、日常の管理の仕方、健康管理の目安の体重などについてお話ししました。参加者も熱心に話を聞き、救護について理解を深めてくださいました。



ボランティアコーナー

当センターのボランティア活動に積極的に参加され、ご自身でも野鳥観察を楽しまれている佐藤さんにインタビューしました

当センターのボランティアに登録をしようと思ったきっかけを教えてください。【ガイドに向けて】佐藤 隆之さん

本州から北海道に転勤して数年になります。

北海道のこと、特に自然についてもっと知りたいと思っていたところ、ボランティアガイドの募集を知り、興味本位ながら登録してみました。

当センターのボランティア活動に参加して、良かったことはありますか？

私自身は鳥や植物のことをほとんど知らなかったのですが、レンジャーの方やボランティアの先輩メンバーは 知識豊富なので、一緒に活動をする中で毎回学ぶことがあります。今は自然ガイドのお手伝いという形ですが、より積極的に来場者の皆様へガイドできるように勉強中です。

野鳥や自然観察の楽しさや魅力があれば教えてください。

普段目にする植物、鳴き声を耳にする鳥について名前が分かるだけでも、少しだけ日常生活が充実する気がします。

さらに、なぜこの植物や鳥が近所で見られるのか調べたり考えたりすることで、自分の暮らす地域への理解を深められるのも面白いです。



子どもたちに図鑑を見せて説明する佐藤さん

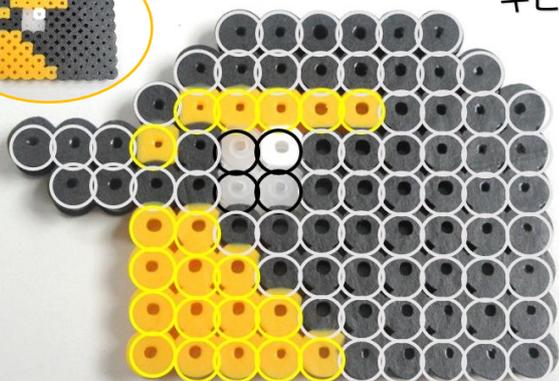
ウトナイ湖 お楽しみコーナー

ウトナイ湖

野鳥グッズを作ろう



キビタキ



デザイン：当センター獣医師 山田智子

ウトナイ湖に春に渡ってくる夏鳥の「**キビタキ**」を作ってみよう♪
写真と同じ位置に、アイロンビーズを並べて作りましょう。

※アイロンビーズは、アイロンの熱で接着するビーズの総称で、並べて熱を加えることで様々なデザインを楽しめます。水で接着するアクアビーズでも同じデザインで作れます。

公式 SNS には、ほかにもたくさん情報を載せています！



Instagram



facebook



X(旧 Twitter)



レンジャーのおすすめ自然情報

観察路周辺では木々の白い花が咲き始め、風によっていい香りがしてきます。野鳥たちのさえずりに混ざってエゾハルゼミも鳴き始め、トンボの仲間など昆虫も多く出てきます。

ヒナのためのエサ探しで親鳥たちも大忙しです。近くで鳴いてくれていると思いきや、威嚇されていることもあるので、そんな時はそっとその場を離れましょう。



【アオバト】

全長 33cm。オスは「オアオー、アーオアオ、オー」とさえずる。林で声が聞こえる。



【ツツドリ】

全長 33cm。オスは「ポポッ、ポポッ」と鼓(つづみ)を打つようにさえずる。カウコウに似ている。



【オオダイコンソウ】

高さが 40~100cm で 2cm ほどの花が咲く。観察路上の足元に見られる。



【カンボク】

昆虫などを引き寄せる飾り花(装飾花)の内側におしべとめしべがある。

ウトナイ湖で自然観察を楽しもう♪

最新自然情報や、自然観察路マップはこちらから



Instagram



facebook



X(旧 Twitter)

自然観察路ガイドマップ【春】



春のお薦めポイント

3月の早朝、湖では数万羽のマゴンのねぐら立ちが見られます。
4月中旬から、林の中では次々と渡ってくる夏鳥たちの賑やかなさえずりが聞かれるようになります。
4月下旬には、はるばるオーストラリアからオオジシギが渡ってきます。
5月下旬、自然観察路の木道沿いにはズミの白い花が満開になります。